

網膜・硝子体手術の専門医 今木先生が当院に就任されました

6月より大塚眼科副院長として着任致しました今木です。大学・医局共に九州大学で福岡での生活が長かったのですが、別府医療センターにはレジデントで2年、眼科医長として5年赴任しており大分での生活も通算8年目となります。別府医療センターでは、県北の中核病院として少しでも患者さ

んの支えになればとやってきました。医局では網膜硝子体グループに属していました。

私は医師の役目とは、病気を治すのに尽力するのは無論のこと、困った患者さんに寄り添うことだと思っています。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

今木 記



副院長 今木

今木先生 副院長就任記念祝賀会が開催されました

平成28年8月6日に今木先生（元別府医療センター眼科医長）の大塚眼科副院長就任記念祝賀会が、オアシスタワーホテルにて開催されました。総勢120名の参加がありました。

院長の開会挨拶に続いて今木先生の就任挨拶があり、そのあと大分県眼科医会会長の大藪先生がご祝辞を述べられました。そしてアステムの吉村恭彰社長の乾杯の音頭により開宴となりました。

宴会では、新鮮な海の幸や豊後牛の鉄板焼きに人気集中していました。

今木先生と同期の野田先生（大分大学医学部眼科学教室助教）のスピーチでは、九大眼科入

局当時の意外なエピソードが披露され笑いをさそっていました。そのあと今木先生の記念講演がありました。基礎的な研究の海外発表などアカデミックな内容でした。

しばらく食事と会話がはずみ宴会も中盤となり、大塚眼科スタッフによる歌やダンスが披露され最高潮に盛り上がりました。そして大分県眼科医会副会長の岡田先生の中締めのと、会場の皆様に対し院長のお礼の挨拶があり閉会となりました。

今木先生の今後のご活躍をお祈り致します。

編集部 記



大藪 先生



今木 先生



院長 大塚 慎一



吉村 社長



野田 先生



岡田 先生



会場の様子

当院で網膜・硝子体手術が常時行えるようになりました

硝子体とは水晶体の後方にある無色透明なゼリー状の組織で、元来は眼内の環境を整えたり、衝撃に対するクッションとして機能していますが眼の病気の原因となることもあります。数十年前、当初硝子体という部分は手術において触れてはならない、手を出してはならないものとされてきました。

近代硝子体手術は1970年にロバート・マカマーによって初の硝子体カッター（家庭用の電動ドリルを改造したものを自宅のガレージで組み立てたそうです）が生み出されてから始まりました。当時は術中合併症の対処法は全く知られておらず、極めて危険な手術というレッテルを貼られていました。その後、マレーらによる硝子体を吸引するカッターと灌流装置、照明を分離する3ポートシステムによって切開創は3.3mmから1.35mm（現在主流の25ゲージシステムでは0.5mm程です）となり、ロータリー式より安全なギロチン式のカッターが登場し今に繋がる基本構造が出来上がっています。

硝子体手術の適応は大きくふたつです。1つは硝子体中の混濁を取り除き、光路を再建する場合と、もう1つは硝子体自体の網膜牽引による病態を改善する場合です。前者としては硝子体出血・硝子体混濁等が、後者としては※若年者を除く網膜剥離、増殖糖尿病網膜症、糖尿病や静脈閉塞による循環障害・硝子体炎による黄斑浮腫、黄斑上膜、黄斑円孔、病的近視からの黄斑分離症等があります。また細菌・真菌・ウイルス感染に対し薬剤灌流・移行性改善目的にも手術することがあります。

（※若年者（主に30代まで）の網膜剥離は一部の増殖硝子体網膜症と呼ばれる重症例を除き、基本的には強膜内陷術と呼ばれる術式が適応とされています）。

近年の特徴としては、1つはここ数十年の間に25ゲージ、23ゲージ、27ゲージの手術システムが開発され急速に普及してきていることです。それに伴い器具・創口が小さくなり、器具を出し入れする際に筒状のトロッカーを使用することでより低侵襲に手術が行えるようになってきています。もう1つはキセノン・LED光源とより広い範囲の眼底視認が可能になる広角観察システム、硝子体可視化剤による観察系の進歩により治療する側・される側の負担が減少していることです。以上2点によって手術の適応も拡大してきています。また黄斑円孔の治療の際、術後顔を下に向けて頂く「face down」という姿勢制限がつきますが、これは多くの人にとって苦痛でもあります。近年の研究から通常の黄斑円孔の術後そこまで何日もの下向きを続けなくても良いのではないかとという結果が、自分らが参加した研究論文で言われており、当院では翌朝まで下向きを頑張ってもらい、そこで円孔閉鎖がある程度確認出来れば姿勢制限を解除しています。

今木 記

参考文献

[Individualized, spectral domain-optical coherence tomography-guided facedown posturing after macular hole surgery: minimizing treatment burden and maximizing outcome.](#)

Yamashita T, Sakamoto T, Sonoda S, Yamakiri K, Otsuka H, Hisatomi T, Imaki H, Ishibashi T, Dugel PU.

Retina. 2014 Jul;34 (7) :1367-75.

講演発表

〈本人のコメント〉視能訓練士 後藤

この数年で眼科検査機器の開発が進み、新しい技術が次々と臨床現場に投入されました。特にOCT（網膜の浮腫や層構造を瞬で測定する機器）は毎年バージョンアップとアプリケーションの追加が行われています。造影剤を使用せずに網脈絡膜血管を画像化できるOCTA（OCTangiography）というOCTの最新技術は、詳細な網脈絡膜血管の所見を観察できるため、網脈絡膜疾患の診断に大きく貢献すると思われます。そして我々検査スタッフは、常に進歩する検査機器の最新機能を使うテクニックや知識が求められています。昨年から講演内容も“OCTAの機能と撮影テクニック”に関する依頼が増え、6月19日の眼科スタッフセミナー東京会場の参加者は700名と非常に多くの参加者があり、最新技術への関心の高さを実感します。検査のレベルアップにより診断精度がさらに向上すれば、最終的には患者様のためになると思います。今後も患者様のために検査のレベルアップに繋がる活動を続けていきたいと考えています。

5/15 (日) 神戸	日本視野学会 モーニングクルーズ（参加人数360名） 講演『OCTA,HFA,Amslerchartによる RAOの視機能評価』
6/19 (日) 東京	眼科スタッフセミナー 東京会場（参加人数700名） 講演『OCT撮影～網膜疾患～』
7/23 (土) 福岡	ZEISS AngioPlex users meeting in JAPAN（参加人数47名） 講演『OCTの特性を考慮した OCTangiographyの撮影テクニック』
7/24 (日) 大阪	眼科スタッフセミナー 大阪会場（参加人数400名） 講演『OCT撮影～網膜疾患～』
8/18 (木) 大分	製薬会社 大塚眼科院内研修（参加人数8名） 講演『眼科検査機器の機能と構造 ～疾患による使い分け～』



当院の見学に来られました

4月
28日
(木)

眼科で行う特殊検査（眼底写真や光干渉断層計など）について、当院で行っているテクニックを学ぶため宮崎中央眼科病院の視能訓練士が当院を見学に来ました。



6月
24日
(金)

大分視能訓練士専門学校の1年生がこれから眼科の知識を学んでいく上で、眼科がどんなところで視能訓練士がどういう仕事をしているのか、漠然としたイメージをはっきりさせて、しっかりとした目標をもって勉学に取り組むために見学に来ました。

6月
23日
(木)

1週おきに2回に分けて、宮崎にある九州保健福祉大学の視機能療法学科（視能訓練士になるための学科）の学生（3年生）が当院の施設を見学に来ました。臨床実習に出る前に、「たくさん機械のある当院で学びたい」と自主的に見学に来たそうです。たくさん質問をして熱心にメモを取る姿が印象に残りました。

6月
30日
(木)



前眼部OCT CASIA2を導入しました

CASIA2は、角膜・水晶体・隅角の詳細な情報を得られる最新の前眼部解析装置（前眼部OCT）です。非接触で短時間に前眼部の3次元撮影が可能です。角膜屈折力や収差を分析し眼内レンズを決定することで、より高精度な白内障手術を可能とします。また緑内障の方の前眼部観察にも有用です。



平成28年 当院の学会参加一覧（5月～8月）

5/14(土)	アイリーア&エタニティーアップデートセミナー(大分)	1名
5/14(土)～15(日)	日本視野学会(神戸)	1名
5/27(金)～29(日)	九州眼科学会(福岡)	3名
6/18(土)	大分眼科集談会(大分)	1名
6/19(日)	眼科スタッフセミナー(東京)	1名
7/10(日)	九州視機能研究会(福岡)	7名

7/23(土)	日本眼循環学会(福岡)	3名
7/23(土)	第1回 Zeiss AngioPlex User Group Meeting JAPAN(福岡)	4名
7/24(日)	眼科スタッフセミナー(大阪)	1名
8/4(木)	大分網膜疾患セミナー(大分)	2名
8/20(土)～21(日)	生涯教育講座(福岡)	7名

各専門医日程

当院では全国より各分野の専門の先生を招いて診察や手術を行っています。専門医診察・手術は早い時期で予約が埋まってきますので、診察や手術をご希望の方は、スタッフまでご連絡ください。

9月	9日(金)	23日(金)～24日(土)	11日(金)～13日(日)	19日(土)	10日(土)
	白内障手術	緑内障専門外来	翼状片手術	眼瞼手術	硝子体手術
	(東京) 井上眼科病院副院長 徳田先生	愛媛大学 准教授 溝上先生	日本医科大学 教授 志和先生	京都府立医科大学 渡辺先生	大阪労災病院 副院長 恵美先生
	17日(土)	29日(土)	12日(土)	1日(木)	10日(土)
	眼瞼手術	涙道内視鏡手術	角膜専門外来	白内障手術	神経眼科外来
	京都府立医科大学 渡辺先生	(岡山) すぎもと眼科 院長 杉本先生	京都府立医科大学 稲富先生	(東京) 井上眼科病院副院長 徳田先生	兵庫医科大学 准教授 木村先生
11月	17日(土)	1日(火)	19日(土)	9日(金)	
	黄斑外来	眼瞼手術	硝子体手術	緑内障手術	
	日本大学 准教授 森先生	(横浜) 岡田眼科 副院長 宮田先生	東京女子医科大学 教授 飯田先生	東京大学 教授 相原先生	



院長がOBSのテレビに出演しました

当院の院長がOBSの「かぼすタイム」という番組からテレビ取材を受け、青い光（ブルーライト）が及ぼす影響について話をしました。取材は約1時間行われ、その映像は平成28年5月14日に放送されました。



OBSスタッフと院長



取材風景

実習生紹介

4月18日（月）～6月10日（金）まで、九州保健福祉大学の学生が臨床実習にきました。

九州保健福祉大学 高野

大塚眼科では、OCTによる眼底疾患の評価や患者様に対する言葉遣い、分かりやすい検査説明を学ぶことができました。約7週間という短い期間でしたが大変勉強になりました。実習させて頂き、院長先生をはじめとするスタッフの皆様には心から感謝しております。本当にありがとうございました。



診療時間の案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:30 ※受付は 7:30～12:00	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木	大塚 今木／中野
午後 14:00 ～ 18:00 ※受付は 12:00～17:00	大塚	中野	今木 中野	午後 休診	今木 野田（予約制）	午後 休診
手術 （午後）	白内障	白内障 硝子体	白内障	—	翼状片 眼瞼 緑内障	注1

注1 専門医による硝子体手術・眼瞼手術・涙道手術を随時行っています。
※コンタクトレンズの作製は、予約制となっております。
事前に電話にて御予約をお願い致します。

〔年末年始のお知らせ〕

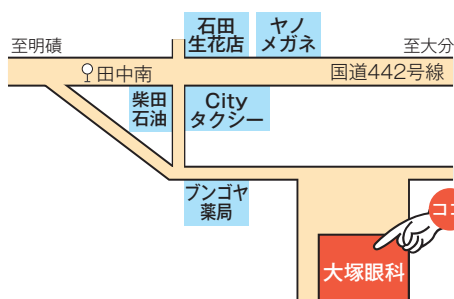
	12/27 (火)	28日 (水)	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1/1 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	5日 (木)
午前	診察	診察	休診					診察	診察	
午後	診察	診察	休診					診察	休診	

※学会出席のため12月3日（土）は休診です。

ホームページ紹介



大塚眼科のホームページには院長の挨拶をはじめ、診療時間の案内・手術案内や、交通アクセスなどが掲載されています。



広報部編集委員

井上
氏川
野崎
小野
小幡

大分市 大塚眼科

検索

インターネットにて検索してみてください

ケータイはこちら

大塚眼科モバイルサイト

